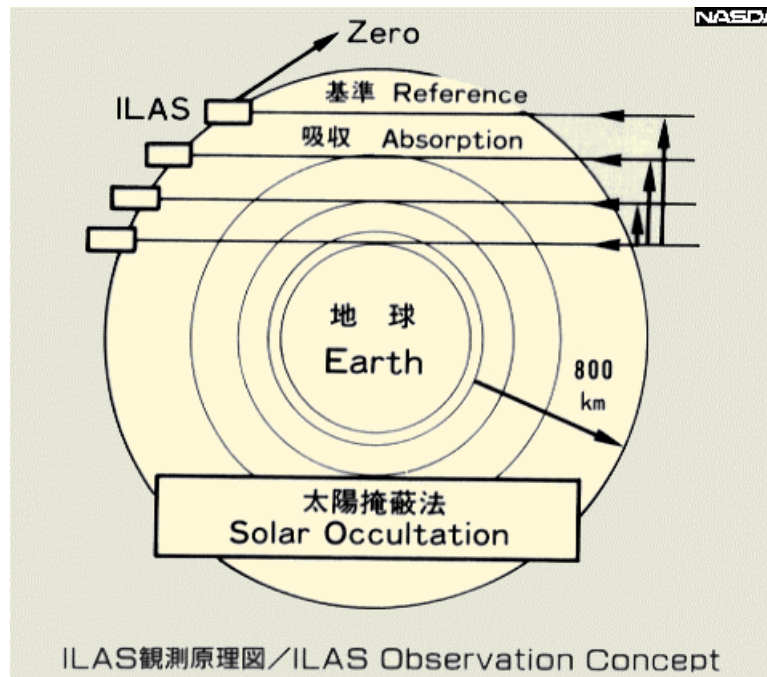


## 大気計測最前線

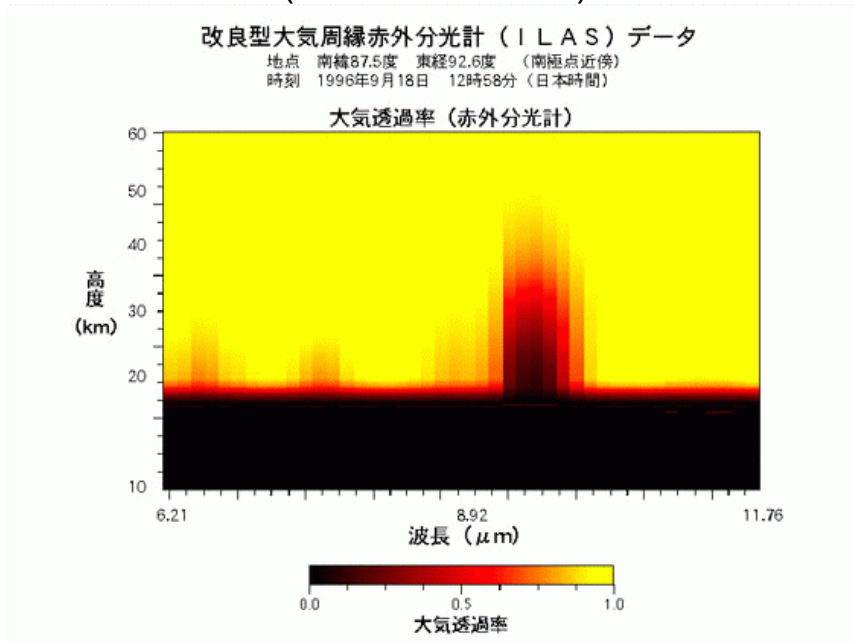
ILAS : Improved Limb Atmospheric Spectrometer  
(改良型大気周縁赤外分光計)



- 地球観測衛星「みどり」に搭載され、太陽を光源として大気の周縁方向の吸収スペクトルを測定
- 観測領域：北緯57～70度，南緯63～88度
- 赤外領域( $850 \sim 1610\text{cm}^{-1}$ )  
オゾン( $\text{O}_3$ )，硝酸( $\text{HNO}_3$ )，二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )，エアロゾル，水蒸気，フロン-11( $\text{CFC-11}$ )，メタン( $\text{CH}_4$ )，一酸化二窒素( $\text{N}_2\text{O}$ )等を測定
- 可視領域( $753 \sim 781\text{nm}$ )  
酸素分子，気温，気圧，エアロゾルを測定

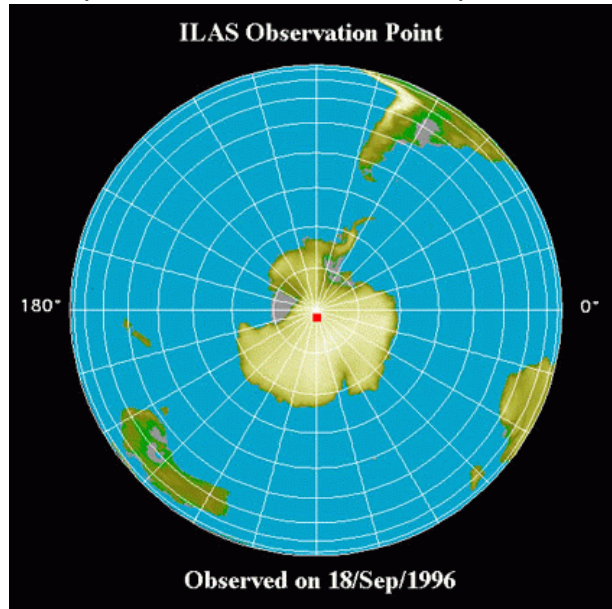
# ILASによる最新データ

(1996.9.18. 12:58)

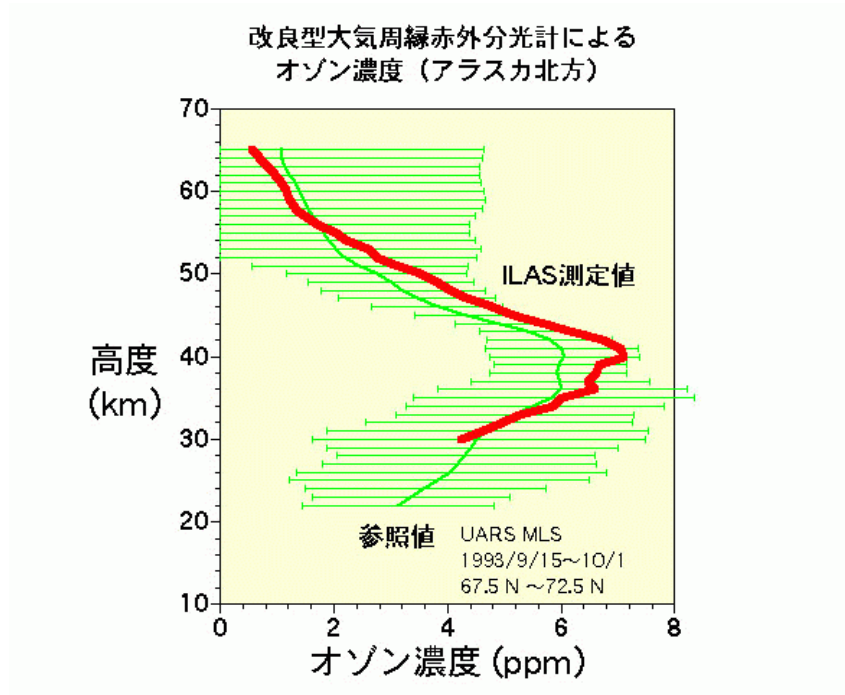


9.6  $\mu\text{m}$ 付近のシグナル = オゾンによる吸収

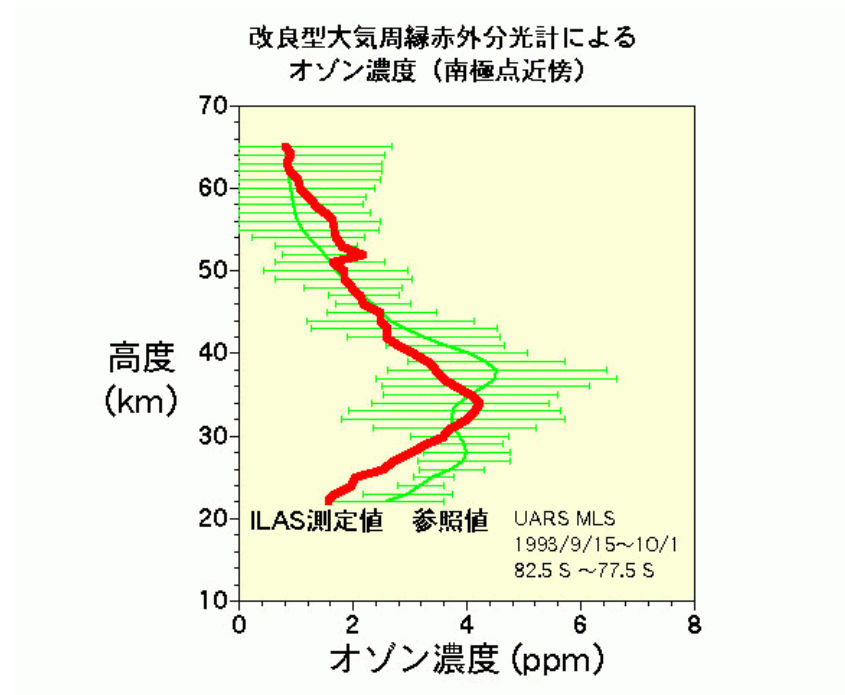
(観測点)南緯 88°, 東経 93°(南極点付近)



## ILASによるオゾン濃度測定結果

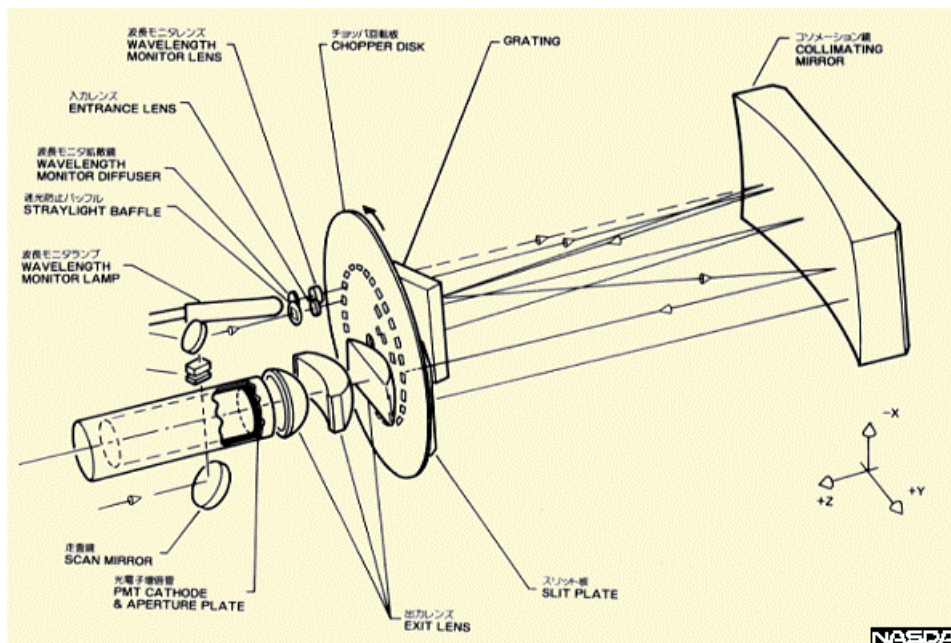


観測地点：北緯 71.5°，西経 129.9°(北極)  
(1996.9.18., 11:53(日本時間))



観測地点：南緯 87.5°，東経 92.6°(南極)  
(1996.9.18., 12:58(日本時間))

## TOMS : Total Ozone Mapping System (オゾン全量分光計)



- 衛星直下の大気からの近紫外線域の発光や太陽散乱光を測定
- 近紫外域のオゾンと二酸化イオウによる吸収スペクトルを観測

# TOMSで観測された全空オゾン濃度分布 (1996.9.12)

